

# 防府市民間委託等推進計画 (素案)

平成28年 月  
防府市

## 1 はじめに

計画では、事務事業の必要性や事業主体のあり方など「民間委託等推進ガイドライン」（平成 26 年 12 月策定）に基づく民間委託等の実現に向けた取組を掲載しています。

## 2 基本方針

「民間が担うことができることは可能な限り民間に委ねること」を基本に、市民サービスの質の維持向上、行政運営の効率化、市民との協働の推進、事業機会の創出や新たな雇用創出による地域経済の活性化の視点から、行政と民間との適切な役割分担のもと、行政責任の確保等に留意しながら、民間委託等を積極的かつ計画的に推進します。

なお、民間委託等により生み出された財源と人員は、新たな市民ニーズ等に対応した公共サービスに再配分し、市民満足度の向上に繋げるものとします。

### 3 取組手法

計画における民間委託等とは、公共サービスを市が直接実施せず、市が行政責任を果たす上で必要な監督権などを留保した上で、民間企業や公益法人などの第三セクター等に行わせることをいい、主な取組手法は、以下のとおりで、実施に当たっては、業務の内容に応じて有効なものを選択します。

#### (1) 民営化

事業主体を市から民間企業等へ移管して、これまで同様のサービスを提供するように変えることです。施設については、施設を民間企業等に譲渡（貸与）し、運営させること（民設民営）です。

#### (2) 外部委託

##### ① 業務委託

事業主体は引き続き市ですが、事業を市が直接実施せず、市が行政責任を果たす上で必要な監督権などを留保した上で、民間企業等に行わせることです。

業務委託の実施に当たっては、複数の業務・施設の包括化、部内共通の業務の集約化などを行うことによって、コスト縮減効果を高め民間事業者の参入意欲を引き出すような業務内容となるよう、委託方法等について柔軟に検討します。

##### ② 指定管理者制度

多様化する市民ニーズにより効果的、効率的に対応するため、公の施設の管理に民間の能力を活用しつつ、市民サービスの向上と経費の節減等を図ることを目的に導入された制度です。

平成 17 年度に「防府市指定管理者制度ガイドライン」を策定し、その取組を推進しています。

##### ③ P F I (Private Finance Initiative)

民間の資金、経営能力と技術的能力を活用して、公共施設等の建設・改修・維持管理・運営等を行う手法で、P P P の代表的な手法の一つです。

P P P (Public Private partnership) は、公民が連携して公共サービスの提供を行うスキームで、公設民営 (D B O ; Design Build Operate) 方式などもあります。

### **(3) その他**

#### **① 廃止**

事務事業の必要性の有無を検討した上で、市の業務を廃止することであり、民営化の一形態とすることができます。施設については、解体等により、これまでの運営を止めることです。

#### **② 協働**

NPOや自治会などの市民等と行政がそれぞれの役割と責務を自覚し、協力して取り組むことです。協働の形態には、補助や実行員会などがあります。

平成 24 年度に「防府市参画及び協働の推進に関する条例」を策定し、NPO、自治会、民間企業等との協働に取り組んでいます。

#### **③ 嘱託職員等の活用**

市が事業を直接実施する業務について、嘱託職員や臨時職員などの活用を検討するなど、その実施方法等の見直しを行い、業務の効率化を図ります。

## **4 計画期間と進捗管理**

計画期間は、平成 28 年度から平成 32 年度までの 5 か年とします。

なお、本市を取り巻く状況の変化や市民ニーズに柔軟に対応するため、必要に応じて新たな取組の追加や工程の変更など、計画の見直しを行います。

また、計画の有効性を維持するため、個々の項目について進捗状況を行政経営改革推進本部や行政経営改革委員会に報告します。

## 5 民間委託等の実現に向けた取組一覧

取組方針		目標年度	備考
No.	業務名		
1 民営化			
1	障害者福祉施設管理運営業務		
2	市立保育所運営業務		
2 外部委託			
1	窓口業務		
2	ごみ収集運搬業務		
3	地域包括支援センター業務		
4	樋門・排水機場管理業務		
5	道路維持補修等業務		
6	学校用務業務		
7	学校給食業務		
8	英雲荘運営業務		
9	図書館運営業務		
10	上下水道局関連業務		
3 その他			
1	防府読売マラソン大会関連業務		
2	葬儀所業務		

## 6 実施計画

No.	○-○	業務名	○○業務
目 標	○○年度	取組手法	○○○
概 要			
年 度	工 程	取組内容	進捗状況
H28 年度	↓	○○	
H29 年度		○○	
H30 年度	実施		
H31 年度			
H32 年度			
備 考			